

質問書に対する回答②

件名) 長野自動車道 一本松トンネル(上り線) 北補強工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書 26-5 打換工	打換工に先立ち施工する、簡易舗装工(加熱アスファルト基層工A t=10cm)の切削は、打換工に含まれるのでしょうか。	特記仕様書 26-5 打換工に記載のとおり簡易舗装工(加熱アスファルト基層工A t=10cm)の切削及び剥取りに係る費用を含んでいます。
2	特記仕様書 26-3-4 区分及び作業内容 【5】土留工 横矢板撤去工	撤去した鉄矢木は処分でしょうか。あるいは、残存物件でしょうか。	残存物件として引き渡すことを考えていますが、処分とする場合は処分に必要な費用を計上してください。
3	割掛対象表参考内訳書 有料道路料金費 (現場内移動) 廃棄物:Co殻	コンクリート舗装版撤去-大型-97往復となっていますが、運搬車両の車種は何でしょうか。(Co殻: 798m <sup>3</sup> )	10tダンプ車を想定しています。
4	割掛対象表参考内訳書 有料道路料金費 (現場内移動) 廃棄及び再利用:土砂	引渡し場所が再生資源化施設となっていますが、土留工は蓬平地区盛土場(麻績IC～坂城IC及び麻績IC～更埴IC+更埴IC～坂城IC)、トンネル部保護土工は更埴IC資機材置場(更埴IC～麻績IC)と松代資材置場(長野IC～麻績IC)ではないでしょうか。	そのとおりお考えいただいて構いません。
5	割掛対象表参考内訳書 有料道路料金費 (現場内移動) 廃棄及び再利用:土砂	トンネル部保護土工【中詰砂】-中型-84往復となっていますが、運搬車両の車種は何でしょうか。(砂:監視員通路481m <sup>3</sup> +監査廊269.8m <sup>3</sup> =750.8m <sup>3</sup> )又、運搬区間(特記仕様書【18】18-3に記載)は松代資材置場(長野IC～麻績IC)240.5m <sup>3</sup> 、更埴資機材置場(更埴IC～麻績IC)510.3m <sup>3</sup> ではないでしょうか	4tダンプ車を想定しています。また運搬先は更埴IC資機材置場と松代資材置場と考えていますが、運搬数量については貴社の施工計画に基づきお考えください。
6	割掛対象表参考内訳書 有料道路料金費 (現場内移動) 廃棄及び再利用:土砂	トンネル部保護土工【中詰砂】の再利用分の有料道路料金が未計上と思われますが、他項目に計上されているのでしょうか。	再利用分の有料道路料金費も計上するものとお考えください。
7	割掛対象表参考内訳書 有料道路料金費 (現場内移動) 廃棄物:流用土	運搬区間が麻績IC～坂城ICとなっていますが、夜間作業で更埴IC資機材置場に仮置した土砂等は麻績IC～更埴IC+更埴IC～坂城ICと考えて良いでしょうか。	そのとおりお考えいただいて構いません。
8	割掛対象表参考内訳書 有料道路料金費 (現場内移動) 廃棄物:廃プラスチック類	用排水構造物工【高密度ポリエチレン管】-中型-1往復となっていますが、仮設円形水路(Φ200-1,009.3m及びΦ300-1,107.7m)は含まれないのでしょうか。	含まれるものと考えております。

9	割掛対象表参考内訳書 有料道路料金費（貸与製品運搬） 【仮設コンクリート防護柵②】	運搬区間が更埴IC～麻績ICとなっていますが、引渡し場所が松代資材置場であることから長野IC～麻績ICではないでしょうか。	更埴ICから設置箇所へ運搬することを想定しています。
10	割掛対象表参考内訳書 有料道路料金費（現場内移動） 廃棄物：廃ケーブル類	引渡し場所が横川SA（上り線）資材置場となっていますが、松代資材置場ではないでしょうか。又、運搬区間が更埴IC～麻績ICとなっていますが、引渡し場所が松代資材置場であることから長野IC～麻績ICではないでしょうか。	引渡し場所は横川SA（上り線）と考えております。また、運搬区間は松井田妙義IC～麻績ICと考えております。
11	割掛対象表参考内訳書 コンクリート打継目費 (処理シート①)	②受台・受台：425.2m <sup>2</sup> は131.7m <sup>2</sup> ではないでしょうか。	そのとおりお考えいただいて構いません。
12	割掛対象参考図3/5	仮設足場の断面図に仮設ケーブルダクト工やプラケットAの表記がありませんが、仮設ケーブルダクト工やプラケットAの無い状態で仮設足場（安全通路）の使用を想定しているのでしょうか。	仮設ケーブルダクト工やプラケットAがある状態で仮設足場（安全通路）を使用することを想定しています。
13	設計図88/124 簡易舗装工図（14）	加熱アスファルト基層工（t=10cm）の重量根拠とするアスファルト比重をご教示願います。	土木工事積算基準 P12-30 4-3-1 (1) 締固め後密度に基づき、2.35 t / m <sup>3</sup> の締固め後密度を設定しております。
14	設計図88/124 簡易舗装工図（14）	加熱アスファルト基層工（t=10cm）の重量（t）算出にあたり、余盛係数等を設定しているのでしょうか。その場合、係数、数値をご教示願います。	余盛係数は設定しておりませんが、土木工事積算基準 P12-31 4-3-1 (2) ロス率に基づき、7%のロス率を設定しております。
15	設計図88/124 簡易舗装工図（14）	上層路盤、下層路盤の体積（m <sup>3</sup> ）の算出方法をご教示願います。（例 上層路盤：粒度調整路盤工A（t=15cm） 1行目 厚さ15cm × 面積114.4m <sup>2</sup> = 体積17.16m <sup>3</sup> となり、表の体積21.9m <sup>3</sup> と異なる）	算出方法は煩雑なので提示できませんが、表の体積21.9m <sup>3</sup> が正しい数量とお考え下さい。
16	設計図31/124 インバート設置図（2）	型枠 D（T2）は、横断部の型枠、縦断部の型枠のうち、いずれの数量を示しているのでしょうか。	横断部の型枠の数量を示しております。
17	設計図31/124 インバート設置図（2）	インバート設置 5区間数量表のうち、型枠 D（T2）の19.8m <sup>3</sup> の内訳をご教示願います。	内容確認のうえ、必要に応じて訂正公告を行います。 確認でき次第お知らせいたします。
18	設計図31/124 インバート設置図（2）	松本側シフト区間 数量表に示すインバート構造物掘削・インバート盛土工の数量3.6m <sup>3</sup> 、3.9m <sup>3</sup> 、7.8m <sup>3</sup> 、7.8m <sup>3</sup> の根拠となる断面積はそれぞれ4.941m <sup>2</sup> 、5.031m <sup>2</sup> 、1.964m <sup>2</sup> 、6.173m <sup>3</sup> （32/124 インバート設置図（3）より）でよろしいでしょうか。また、数量根拠となるそれぞれの延長（m）をご教示願います。	内容確認のうえ、必要に応じて訂正公告を行います。 確認でき次第お知らせいたします。

19	設計図31/124 インパート設置図 (2)	松本側シフト区間 数量表に示すインパート構造物掘削 特殊部A 数量 3.6m <sup>3</sup> 、3.9m <sup>3</sup> は、走行側、追越側を示しているのでしょうか。	そのとおりお考えください。
20	20 設計図31/124 インパート設置図	松本側シフト区間 数量表に示すインパート構造物掘削 特殊部B 数量 7.8m <sup>3</sup> 、インパート盛土工 数量7.8m <sup>3</sup> は、走行側、追越側のいずれの数量を示しているのでしょうか。それとも走行側・追越側の合計数量でしょうか。	内容確認のうえ、必要に応じて訂正公告を行います。 確認でき次第お知らせいたします。
21	設計図31/124 インパート設置図 (2)	松本側シフト区間、A区間 B区間、長野側シフト区間に示すインパート構造物掘削・インパート盛土工の数量の算出方法をご教示願います。	算出方法は煩雑なので提示できません。